

スポーツ

スポーツに関するイベントや話題などを紹介します。

PICK UP



スポンジボールを
手で打ち合おう!



ファミリータスポニー講習会

とき: 2/23(祝)9:00~12:00 ところ: 新栄地区体育館
定員: 72人(申込順) 申込み: 2/22(土)までに氏名、年齢、
電話番号を豊橋市体育協会(☎63・3031) HP 70331

アクアリーナ豊橋 親子スケート教室(初心者向け)

とき: ①1/12(日)②2/9(日)③3/8(日)④4/5(日)10:30~
11:30 対象: 3歳児以上と保護者(2人1組)
定員: 20組(申込順) 料金: 1,100円(別途、施設使用
料・貸靴料必要) 申込み: ①は随時、②は1/7(火)、
③は2/1(土)、④は3/1(日)からアクアリーナ豊橋
(☎31・4781) HP 70409

子どもに負けずに
大人も挑戦!



RUN

令和2年度学校体育施設の 使用希望者は登録をしてください

4月1日(水)以降、市立小・中学校、くすの
き特別支援学校、市内の県立高校の体
育施設(体育館、武道館、校庭)の使
用を希望する団体は、2月1日(土)から豊橋
市体育協会、総合運動場管
理事務所で登録手続きを
してください。

問合せ: 「スポーツのまち」
づくり課(☎51・2866)
HP 70332

市民スポーツ祭 スケート大会

とき: 2/16(日)10:00 ところ: アクアリーナ豊橋 対象: 市内在住・在学・在勤の
年長児以上、または豊橋スケート協会主催のプレーンテスト合格者(日本
スケート連盟・アイスホッケー連盟・豊橋スケート協会登録者を除く)
部門: スピード、プレーンテスト 定員: 100人(申込順) その他: 貸し靴あり
(300円必要。サイズは15cm以上) 申込み: 2/2(日)までに直接、豊橋市体育
協会(☎63・3031) HP 70397



オリンピック・パラリン
ピックに関わる、市内
の「ひと・もの・こと」を
紹介します。



豊橋から声援を! バスケットボール 高田 真希選手(30歳)

183cmの恵まれた体格と、空手で培った強い
精神力を武器に活躍する北部中出身の高田選
手。現在、バスケットボール女子日本代表のキャ
プテンとして東京五輪出場を目指し、チームをけん
引しています。高田選手は、「日本代表、豊橋市
代表として、皆さんに勇気、希望、活力を与えら
れるプレーができるよう頑張ります。」と話してく
れました。

チーム一丸となって戦い、
金メダルを獲得したいです!



高田 真希選手
(デンソーアイリス)

演劇・コンサート

演劇・コンサートなどの公演や、ワークショップなど参加型のイベントを紹介します。

PICK UP



平成30年度 市民と創造する演劇「リア王 どん底から笑ってリターン!」 撮影:伊藤華織



市民と創造する演劇 グッバイ・フランケンシュタイン 穂の国の怪物たち

とき:3/7(土)、3/8(日)14:30 ところ:穂の国とよはし芸術劇場「プラット」 原作:メアリー・シェリー
作・演出:吉田小夏(青☆組) 入場料:全席指定。一般2,000円、24歳以下1,000円、高校生以下500円
チケットの販売:会員先行は1/5(日)10:00からプラットチケットセンター(☎39・3090)、一般は1/18(土)10:00からプラットチケットセンターほか

演劇初心者も楽しめる!

市民と創造する演劇を観に行こう

今回で6回目となる、プラット主催の「市民と創造する演劇」をより一層楽しむポイントを、出演者や演出家の声を通して紹介します。

出演者も裏方も市民

6年前に始まった「市民と創造する演劇」は、出演者も裏方も市民がプロのスタッフと共に演劇プログラムです。出演者は毎年オーディションで選ばれ、今年は40人の応募の中から、18〜66歳の市民17人が出演者として決定しており、一つの舞台を作り上げます。



初心者とは思えない完成度

参加者は、演劇経験者から初めて舞台に上がる人までさまざまですが、プロの演出家と俳優と共に2か月間の本格的な稽古を行います。市民だからこそ表現できる生活の匂いや、強烈な個性を取り入れた作品を作り上げていくこの企画は、高い評価を受けています。

出演者 & 演出家に聞く!

現在、稽古中の出演予定者と演出家に、公演への意気込みや見どころを伺いました。



朝倉 捷さん
県内の大学に通う大学生。

みんなに観てほしい

今回、プロの方と世代の違う

市民とで、作品を作ることができる魅力にひかれ、応募しました。世代の違う方々と演劇を作るのは初めてで、いろんな発想に触れられる機会になると思うと、とてもワクワクしています。また、有名な小説「フランケンシュタイン」が原作の作品を上演するということで、この世界の中の登場人物として舞台上に立てること、そしてこのメンバーで作るフランケンシュタインが、どうなるのか楽しみです。



吉田 小夏さん
劇作家や演出家として活躍中。

人生そのものを演劇に表現 「フランケンシュタイン」は、メアリー・シェリーが若年18歳の時に書いた物語です。ゴシックホラーとして名高いこの小説を書いたのが、道ならぬ恋に身を焦がす若い女性だったことを初めて知った時、この作品に眠る新しい可能性を感じました。原作に登場する怪物は、最後まで名前がありません。今回の作劇では、出演者と共に、自分だけの怪物の名前を探すところから創作を始めました。生まれ落ちた世界の中で出会うコンプレックスや孤独、葛藤は、人間の悩みそのものとも言えるのではないのでしょうか。その普遍的な痛みを、さまざまな怪物の視点を通して見詰め、原作とは違う希望のある終幕を、祈るように探してみたいと思います。

問合せ

穂の国とよはし芸術劇場
(☎39・8810)